

特別シンポジウムOS03

薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂と今後の対応

松木 則夫¹, 太田 茂², 入江 徹美³

¹東大院薬, ²広島大院医歯薬, ³熊本大院薬

平成 18 年度に始動した新薬学教育制度を検証し、社会の要請に応える質の高い薬剤師、薬学研究者を育成していくためには、その基盤となるカリキュラムの充実及び質的向上が強く望まれる。現行の「薬学教育モデル・コアカリキュラム(平成 14 年作成)」及び「実務実習モデル・コアカリキュラム(平成 15 年作成)」の一本化を図り、医療を取り巻く情勢の変化に対応するための改訂作業が、文部科学省「薬学系人材養成の在り方に関する検討会」、「薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会」及び日本薬学会「薬学教育モデル・コアカリキュラム及び実務実習モデル・コアカリキュラムの改訂に関する調査研究委員会」の協働で実施された。今回の改訂に当たり、新「薬学教育モデル・コアカリキュラム」は、6年制薬学部・学科におけるカリキュラム作成の参考となる教育内容ガイドラインとして提示され、卒業時までには修得されるべき「薬剤師として求められる基本的な資質」を前提とした学習成果基盤型教育(outcome-based education)に力点を置いている。本シンポジウムでは、「薬学教育モデル・コアカリキュラム」の改訂方針やその経緯を担当者に報告していただくとともに、今後協議すべき事項(各大学におけるカリキュラム編成、薬学共用試験の出題範囲、薬局・病院での実務実習のあり方、薬剤師国家試験の出題範囲など)について、行政担当者も交えて、薬学教育に関わる関係者が一堂に会して、情報共有・議論する場を提供したい。